

LOTTE Sustainability Communication Book 2023



LOTTE Purpose



独創的なアイデアと



こころ動かす体験で



人と人をつなぎ、



しあわせな未来をつくる。



LOTTE Sustainability Communication Book 2023

サステナビリティ アンバサダー就任!



©L/KMP

コアラのマーチくんとそのお友達が、株式会社ロッテのサステナビリティアンバサダーに就任しました!たくさんの人々と一緒に「しあわせな未来」へのアクションを進めていくために、マーチくんたちが株式会社ロッテのサステナビリティ活動を分かりやすく、楽しくお伝えしていきます。

パーパス P1

代表取締役社長執行役員×
社外取締役 対談..... P4

マテリアリティとESG中期目標 ... P7

大切にしていること 1
食の安全・安心..... P9

大切にしていること 2
食と健康 P10

大切にしていること 3
環境 P13

大切にしていること 4
持続可能な調達 P15

大切にしていること 5
従業員の能力発揮 P17

事業活動の基盤 P20

ESG中期目標 実績ハイライト P21

代表取締役社長執行役員×社外取締役 対談



社外取締役

藺田 綾子

DIALOGUE

代表取締役社長執行役員

牛腸 栄一

—— 株式会社ロッテの新たなパーパス「独創的なアイデアとこころ動かす体験で人と人をつなぎ、しあわせな未来をつくる。」に込めた想い

牛腸：コロナ禍を経験して、働き方や消費行動など様々なものが変わったと感じています。その中で当社の存在意義や提供価値を改めて従業員のみなさんと共有する必要性を感じました。また、分かりやすく、ずっと腹落ちするような、簡潔で短いパーパスにしたいと思いました。従業員をはじめ様々なステーク

ホルダーにヒアリングを行い、言語化したのがこのパーパスです。

藺田：未知の感染症が身近に迫ったことで、自分自身の存在意義や自分の人生でどんな価値を提供できるかを考えるようになった方もいたと思います。私自身も経営者として、会社の存在意義について改めて考えました。ロッテのように、パーパスとしてきちんと言語化して共有することがとても重要だと感じています。パーパスは北極星のようなものです。山の頂上(ビジョン)に登る方法やルートはいろいろなので、全員が同じ北極星を目印

にして、いろんな登り方があっても良い
と思います。

会社のパーパスを浸透させる過程で、
従業員のみさんにはマイパーパスを
考えてもらってはいかがでしょう。独創
的なアイデアとは？こころ動かす体験と
は？幸せな未来ってなに？…それを皆さ
んで語り合って言葉にしてほしいです。
まずは、牛腸さんのマイパーパスを是非
お伺いしたいです。

牛腸：私が考えるこころ動かす体験は、お客様
に喜んでもらうことです。当社のお菓子
やアイスをお店で買われている姿や行
楽地で楽しそうに食べている子どもを
見ると、心から嬉しい気持ちになります。
そこで、私の役割は、このように人々に
愛される製品やサービスを次々と生み
出す組織と人を作ることだと考えていま
す。私は「インスパイア」という言葉が好
きで、自分の想いを人に伝播させ、刺激
を与える人でありたいと思っています。
私自身が率先して新しいことに挑戦す
る姿が刺激となり、従業員が自ら考え挑
戦できるような会社を作らなければなら
ないと考えています。社長を拝命した当



時から掲げている「何事にも挑戦できる
風土」「自由闊達に話し合える環境」「個
の力の発掘」は、まさに私のマイパーパ
スです。

—— サステナビリティ経営を推進して いる意図について

牛腸：パーパスにもある独創的なアイデアを
生み出していくためにDEI(Diversity,
Equity & Inclusion)は欠かせませんし、
当社の事業は原材料をはじめ自然の恵
みで成り立っています。つまり、サステナ
ビリティ経営の推進は当社の未来を考
える上で不可欠で、それを従業員が理
解し、実践してこそ意味があると考えて
います。2018年に5つのマテリアリティ
とESG中期目標を掲げてから5年が経過
し、だいぶ社内にも浸透してきました。
藪田さんを社外取締役として招聘した
のも、サステナビリティ経営をさらに推
し進めるためにお力をお借りしたいと
思っていることです。

藪田：社外取締役のお声がけをいただいた
際、今言及されたサステナビリティ経営
の考え方に共感して、お引き受けしたの

を覚えています。実は、母がお菓子屋さんを経営していたので、ロッテのチョコレートやアイスクリームにも楽しかった思い出が詰まっています。でも、社外から見てみると、以前のロッテはあまり情報開示がない印象で、サステナビリティの取り組みも正直よく分かりませんでした。従業員のみなさんとお話しさせていただくと、とても真面目で熱心に取り組んでいるのが分かりました。しかし、その真面目さゆえに、情報発信が慎重すぎるのかもしれませんが。せっかく良い取り組みや先進的な新しい取り組みにチャレンジされていますので、途中段階でも情報を発信してください。情報を出すことで社内外の多くの人を巻き込むことができ、結果としてよりインパクトのある取り組みになると思います。

—— 持続的な成長を実現するために ロッテに期待すること

藺田：最も重要なのは人的資本です。次世代のリーダーを育成するロッテ大学をスタートしたのは、とても素晴らしいですね。人財育成をコストではなく投資と捉えれば、将来の企業成長のために思い切った投資をしていこうと視点が大きく変わります。また、リーダーシップだけではなく、フォロワーシップを実践できる人財の育成も大切です。リーダーが最大限に力を発揮していくためには、一緒に盛り上げて推進していくフォロワーの存在が不可欠です。

牛腸：ロッテ大学以外にも、公募制の人事制度や社内ベンチャーの仕組みなど、特に若い世代を中心に自ら手を挙げて活躍できる体制を整えつつあります。もちろん、それに合わせて、いろいろなチャレンジが評価されるように評価制度も見直していきます。人財育成は、まさに私のパーパスですので、これからもあの手この手で推進していきます。

藺田：素晴らしいトップコミットメントですね。独創的なアイデアでイノベーションを起こして、持続的な成長を実現するためには、多様な人財の活躍が必須です。個人個人が良いアイデアを持っていても、それを引き出して具現化させる環境がなければ、絵にかいた餅になってしまいます。それを整備するのは経営の役目ですね。私も社外取締役として、これからも積極的ににどンドン後押しさせていただきます。



社外取締役 藺田綾子氏

(株)クレーン 代表取締役

1988年株式会社クレーンを設立し、これまでに延べ約800社のサステナビリティ報告書や統合報告書の企画制作やサステナビリティ・コンサルティングを支援。公益財団法人みらいRITA代表理事、NPO法人サステナビリティ日本フォーラム理事、三菱地所株式会社社外取締役などを務める。2022年より当社社外取締役。

マテリアリティとESG中期目標

マテリアリティ	取り組み項目	指標
<p>1 食の安全・安心</p> 	<p>さらなる品質向上</p>	<p>GFSI承認スキーム (FSSC22000/BRC)</p> <p>ロッテ新品質保証システム LOTTE ADVANCEの導入</p>
<p>2 食と健康</p> 	<p>健康</p> <p>食育</p>	<p>「噛むこと」を意識して実践している人の割合(国内)</p> <p>歯と口の健康のためにキシリトールを生活に取り入れている人の割合(国内)</p> <p>食育体験者数</p>
<p>3 環境</p> 	<p>脱炭素社会</p> <p>循環型社会</p>	<p>エネルギー起源CO₂排出量 (Scope1、2)削減率(2019年度比)</p> <p>FLW(食品ロスおよび食品廃棄物) 発生量削減率(2019年度比 原単位)</p> <p>生産工程から排出された廃棄物のリサイクル率</p>
<p>4 持続可能な調達</p> 	<p>カカオ豆</p> <p>パーム油</p> <p>紙</p>	<p>フェアカカオ使用率</p> <p>第三者認証油使用率</p> <p>環境に配慮した紙使用率(容器包装)</p>
<p>5 従業員の能力発揮</p> 	<p>ダイバーシティ</p> <p>働き方改革</p> <p>従業員エンゲージメント</p>	<p>女性管理職比率(国内)</p> <p>一人当たり年間総労働時間(国内)</p> <p>働きがいを感じている社員割合(国内)</p>

	2023年目標	2028年目標	貢献するSDGsターゲット
	認証維持	認証維持	
	開発・生産拠点で 展開開始	開発・生産拠点で 継続運用	 2.1, 2.4
	35%以上	50%以上	
	—	50%以上	
	年間10万人 以上	年間15万人以上	  3.4, 9.5
	—	23%以上削減 (2050年目標カーボンニュートラル)	
	—	50%以上削減	  12.3
	99%以上(国内)	99%以上(国内+海外)	12.5
	—	100% (2025年目標ガーナ産100%)	  8.7, 8.8, 12.7, 17.16, 17.17
	100%(国内)	100%(国内+海外)	8.7, 8.8, 12.7, 13.1, 17.16, 17.17
	100%(国内)	100%(国内+海外)	8.4, 12.7, 13.1, 17.16, 17.17
	10%以上	20%以上	
	1,850時間 以下	1,800時間以下	  5.1, 5.5, 5.b, 8.5
	80%以上	80%以上維持	5.4, 5.b, 8.1, 8.2
			8.1, 8.2

安

大切にしていること 1

食の安全・安心

2
品質を
ゼロに



当社は、創業以来大切にしてきた3つの価値(ロッテバリュー)の一つにクオリティ(最上の品質)を掲げています。製品づくりにあたっては、安全・安心で高品質であることはもちろん、「楽しさ」「おいしさ」「やすらぎ」の付加価値が感じられることも不可欠であると考えています。それら全てが実現すべき「品質」であり、全従業員で取り組んでいます。

新品質保証システムLOTTE ADVANCE(ロッテアドバンス)

当社およびグループ会社の主な工場において、国際的な食品安全認証であるGFSI*1承認スキーム(FSSC22000*2)認証を取得しています。また、さらなる品質の向上と高い安全性の確保を目指し、2023年度から独自の新品質保証システムLOTTE ADVANCE(ロッテアドバンス)を開発・生産拠点に展開しています。

*1 GFSI: 世界食品安全イニシアチブ(Global Food Safety Initiative)の略。食品安全システムの継続的改善を目的に2000年5月に設立された国際的な非営利団体。

*2 FSSC22000: 食品安全マネジメントシステムに関する国際規格であるISO22000を追加要求事項で補強した世界標準の食品安全規格。



(株)ロッテ 品質保証部
食品安全管理課
チーフスペシャリスト
吉田 歩



(株)メリーチョコレートカンパニー
生産本部 大森工場長
木村 憲一

サプライチェーン全体で品質向上に取り組む

当社では、工場だけではなくサプライチェーンの各段階で品質の向上に取り組んでいます。安全で高品質な製品をお届けするために、製品開発の段階から品質に関するリスク評価システムを導入しています。さらに、原材料は、ロットごとに検査・管理し、トレーサビリティを確保しています。そして、製品パッケージや販促物、広告物などの表示については、関連法規を遵守することももちろん、お客様に分かりやすく誤認を与えないよう、複数の担当者がチェックしています。また、お客様の声は経営層および社内関連部署で共有し、既存製品の改良や新製品の開発などにつなげています。

サプライチェーン





大切にしていること 2

食と健康



当社は、創業以来培ってきた知見や技術を活かし、地域や社会に新たな価値を提供することで、成長し続けてきました。例えば、1997年発売の「キシリトールガム」は、歯を丈夫で健康に保つという新しい健康価値を生み出し、社会に貢献してきました。これからも当社が大切にしてきた「おいしさ」を軸に、食で健康価値を提供し、社会課題の解決に貢献していきます。

出張授業

当社では、小学校へのお出張授業を行っています。製品開発をする上で大切な考え方などを楽しく学んでいただき、お菓子開発のワークを通して新しいアイデアを考えてもらうなど、創造的思考力の育成につながる授業を行っています。

現在の業務を継続しながら出張授業を行う兼任講師を全国の社員から社内公募し、2023年6月より順次教壇に立っています。食育活動を拡大することはもちろんですが、部署や年代、キャリアに関係なく多様な人材が参画することで社内の人材育成にもつながっています。

また、全国の社員に先駆けて代表取締役社長執行役員の牛腸も兼任講師として教壇に立ち、社内報を通じて従業員へ情報発信しました。身近な菓子メーカーとして食育分野で貢献できる力は大きいと考えています。今後も取り組みの拡大にご期待ください。



(株)ロッテ ESG推進部
食育推進課 課長
池田 なつき



(株)ロッテ ESG推進部
食育推進課食育授業係
上田 伸行



(株)ロッテ 生産本部
浦和工場生産技術部
生産技術二課
中山 優奈

兼任講師の中山さんよりメッセージ

普段はものづくりに近いところで仕事をしていて、消費者と関わる機会が少ないため、生の声を聞きたいと思い応募しました。「ロッテノバージョン」の考え方でお菓子開発をする授業は、子ども達も興味津々な内容で、柔軟な発想に毎回驚かされ、時には間違えた意見交換の場となり、私自身のスキルアップにもつながっていると感じています。当社の食育を社内でも伝えていきたいですし、世の中の常識となるようにさらに根付かせていきたいです。



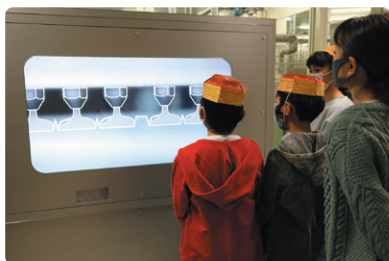
大切にしていること 2

食と健康



お菓子の学校

当社の浦和工場では、工場見学を受け入れています。2022年5月には約2年をかけて大規模リニューアルを行った「お菓子の学校」がオープンしました。工場見学では、製造の現場を実際に見学していただくとともに、SDGsへの取り組みなどをご説明しています。体験しながら学ぶことのできる仕掛けづくりにもこだわっていますので、ぜひお越しください。



その歯と100年。 キシリトールプロジェクト

キシリトールが歯と口の健康に与える良い影響についての研究と普及を通して、人々の豊かな生活に貢献することを目的に、「その歯と100年。キシリトールプロジェクト」を2020年にスタートしました。予防歯科の先進国であるフィンランドにならない、自治体や地元歯科医師会とともに「歯磨き・フッ化物・キシリトール」に「定期的な歯科健診」を加えた口腔ケア習慣を普及させる活動を行っています。プロジェクト第1弾として福島県会津若松市にご理解いただき、市内の幼稚園・保育園にキシリトール入りのタブレットやラムネと、専用サーバーを提供しています。現在では計7つの自治体の幼稚園・保育園で活用実績があり、幼児期からの口腔ケア習慣の定着を促す取り組みを行っています(北海道、青森県五所川原市、福島県会津若松市、千葉県、神奈川県海老名市、山口県、福岡県北九州市)。このプロジェクトは日本だけでなくベトナムの幼稚園においてもテスト展開がスタートしており、グローバルでの取り組みです。



その歯と100年。キシリトール。 XYLITOL



噛むことの普及

チューインガムで創業した当社は、今日まで歯と口に関する様々な研究を重ねてきました。長年の研究により「噛むこと」は全身の健康と密接に関わっていることが分かっており、「噛むこと」の普及は口腔機能の維持などを通じた健康寿命の延伸やWell-being(充実した人生)といった様々な社会課題の解決に活かすことができると考えています。当社では、「噛むこと」を通して人々の豊かなくらしに貢献するために、「噛むこと」の研究と成果発信を専門に行う噛むこと研究部を設置しています。また、2022年4月より小学校低学年を対象にした教育支援プログラム「めざせ!かむことマスター~まいにち かんて げんき いっぱい!~」の教材提供をしています。「噛むこと」の大切さやよく噛むために大切なポイントを知ること、「噛むこと」の意識・習慣化をサポートする教材です。今後も様々な取り組みを通して、「噛むこと」の普及に努めてまいります。



咀嚼チェックアプリ

当社では、咀嚼能力を測定できるキシリトール咀嚼チェックガムを2004年に開発しました。その結果を客観的に数値化するため「咀嚼チェックアプリ」の運用を2023年2月より開始しました。アプリの結果をもとに、日常生活から噛むトレーニングを取り入れていただくことで、人生100年時代のWell-beingな生活に役立てていただければと思い開発しました。

引き続き「噛むこと」に関する情報発信を行い、当アプリの導入を今後も拡大してまいります。



(株)ロッテ 中央研究所
チューインガム研究部
チューインガム研究課 主査
長田 優希

(株)ロッテ マーケティング本部
ブランド戦略部
チューインガム企画課 主査
毛利 彰太



大切にしていること 3 環境



地球環境の保全は生命の存続に関わる最重要課題であり、私たちのビジネスも地球環境の恩恵を受けて成り立っています。こうした考えのもと、持続可能な地球環境の実現に貢献することを重大な責任と捉えています。中でも脱炭素とFLW（食品ロスおよび食品廃棄物）の削減を重点的に取り組む課題と位置付け、環境負荷の軽減に取り組んでいます。

脱炭素に向けて

当社では、2050年度までにカーボンニュートラル（Scope1、2）を達成する目標を掲げています。これを達成するために、エネルギーの効率的な使用と再生可能エネルギー導入の両輪で取り組んでいます。特に、エネルギー起源CO₂排出量の大部分を占める工場では、スマートファクトリープロジェクトを進めています。センサーを用いて生産工程から様々なデータを取得し、それらをもとにAIを用いて生産工程を最適化して、エネルギーの抜本的な効率化に挑戦しています。再生可能エネルギーの導入は、2019年4月より当社の本社ビル（新宿区）で使用している電力を全量水力発電由来の電力に切り替えました。さらに、国内の工場でも順次導入を進めているほか、ポーランドのロッテウェデルでは2020年2月より再生可能エネルギーである風力発電由来の電力に切り替えました。今後も、再生可能エネルギーの導入によって温室効果ガスの排出を抑制するとともに、再生可能エネルギーの普及にも貢献していきます。



気候変動への対応

当社の事業は、地球環境の恩恵を受けて成り立っており、気候変動が事業活動に与える影響が大きく、その対応は重要な経営課題であると認識しています。2021年5月にはTCFD*1への賛同を表明し、賛同企業や金融機関が議論を行うTCFDコンソーシアム*2に加入しました。TCFDの提言に基づいたリスクと機会の分析によるレジリエンス強化および情報開示を進め、2022年度は定量評価を実施しました。情報開示の詳細は、サステナビリティデータブックP20-22をご覧ください。リスクと機会の分析は継続的に見直しを行い、今後は対応戦略や計画の検討および実行に取り組めます。

*1 TCFD: 気候関連財務情報開示タスクフォースの略。G20からの要請を受け金融安定理事会（FSB）が2015年に設立。企業に対し、気候変動関連リスクおよび機会について開示することを推奨する提言をまとめた。

*2 TCFDコンソーシアム: 企業の効果的な情報開示や、開示された情報を金融機関等の適切な投資判断につなげる取り組みについて議論する場として、2019年に設立。





容器包装の環境配慮

当社では、様々な容器包装を通じた環境配慮への取り組みについて、お客様に分かりやすくお伝えるために、2022年より独自の環境配慮基準をクリアした製品にスマイルエコマークを順次表示しています。

スマイルエコマークのデザインは、地球環境への配慮を葉のモチーフで表現し、自社製品で人々を笑顔にしたいという思いを込めて生まれました。



<https://lotte-land.jp/publisher/smileeco/>

FLW(食品ロスおよび食品廃棄物)削減の取り組み

食べ物に困っている人や福祉施設などに食品を無償で提供する取り組みをフードバンクといいます。私たちはこの活動に賛同し、2022年度からは取り組みの幅を広げるためにMOWLS*と連携して、全国へ自社製品を寄贈しています。この連携により、大型の寄贈受入が可能な複数拠点への配送・寄贈が可能になり、2023年度は当社における未出荷品の廃棄を削減できる見通しです。この取り組みは「おいしい」「たのしい」という食の喜びを伝える一助となるだけでなく、食の有効活用にもつながる有意義な取り組みと考え、今後もフードバンク活動への協力を継続していきます。

*MOWLS: 全国食支援活動協会が50の中間支援団体と連携し取り組むプロジェクト。食支援を行う団体や自治体が食品寄贈を受けやすいよう、冷凍・冷蔵設備を含む保管スペースをもつ拠点の整備を全国で進めています。



(株)ロッテ
SCM本部物流部
物流企画一課 課長
大元 一正

(株)ロッテ
SCM本部需給部
需給一課
片岡 貴志

(株)ロッテ ESG推進部
サステナビリティ推進課
和南城 裕太

取り組みを進めている和南城さんよりメッセージ

今回の連携により、物流拠点を活用した効率的な寄贈ができるようになったことで、寄贈量を大きく増やすことができました。新しい取り組みなので、社内の仕組みを構築するのに苦労しましたが、SCM本部を中心とした関連部署と連携しFLWや廃棄コストを削減することができました。また、フードバンクや子ども食堂の皆さまから感謝のお言葉をいただいたことで、お菓子やアイスの存在意義を改めて認識し、非常にやりがいを感じています。今後も社内外の皆さまと一緒に取り組みを進めてまいります。

持続可能な調達



当社は、高品質な製品・サービスを安定的にお客様にお届けするためには、安全・安心であることはもちろん、環境や社会にも配慮した、持続可能な原材料の調達が重要だと考えています。これを実現するため、取引先や業界内外のステークホルダーと連携して、サプライチェーン全体で持続可能な調達活動を推進しています。



カカオ豆の持続可能な調達に取り組むフェアカカオプロジェクト

カカオ豆の生産地は農家の貧困や児童労働、森林破壊等、様々な課題を抱えています。チョコレートが主力製品である当社にとって、カカオ豆の持続可能な調達は重要な課題であり、これまで調達活動を通じた様々な支援を行ってきました。これらの持続可能なカカオ産業の実現に貢献する活動をフェアカカオプロジェクトと名付けて推進しています。フェアカカオプロジェクトでは、生産地が抱える様々な課題のうち児童労働の撤廃に向けた取り組みからスタートしています。これまで行っていた地域指定購入による支援に加え、現地のパートナーと協力して児童労働のモニタリングを行っています。地域指定購入は、調達する生産地域を指定し、そこから調達するカカオ豆に一定の割増金(プレミアム)を上乗せして支払うもので、割増金がその地域における児童労働モニタリングに使われます。このように調達したカカオ豆をフェアカカオと名付けて、その調達割合の拡大をESG中期目標で掲げています。



児童労働モニタリング

当社がカカオ豆の生産地で、児童労働の撤廃に向けて取り組んでいるのが児童労働モニタリングです。現地のパートナーと協力して児童労働のモニタリングシステムであるCLMRS*を運用しています。CLMRSは子どもが学校に通うことの大切さや児童労働の定義などについての啓発からスタートします。そして、児童労働を発見・是正することはもちろん、モニタリングによって地域ごとに異なる課題を明らかにし、フォローアップにより継続的な改善を行うことを目的としています。

* CLMRS: 児童労働監視改善システム (Child Labor Monitoring and Remediation System) の略。カカオ産地で児童労働撤廃のための活動を推進するNPO団体の International Cocoa Initiative (ICI) が開発したシステム。

CLMRS概要



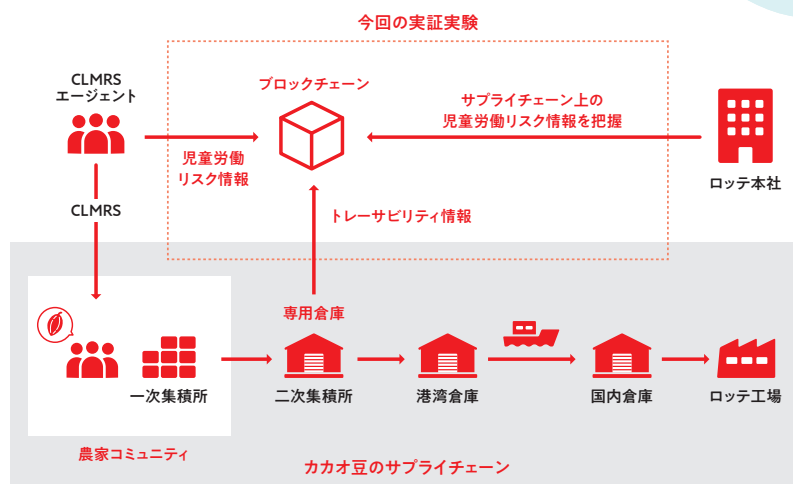
トレーサビリティと児童労働リスク情報に関する実証実験を開始

ガーナ国内におけるカカオ豆のサプライチェーンは複雑な上、ほとんどが電子化されておらず、詳細なトレーサビリティ情報(生産地情報)を取得するのが難しい状況です。そのため、CLMRSによって得られる児童労働リスク情報と調達したカカオ豆のトレーサビリティ情報を完全に紐付けることはできておらず、サプライチェーン上の児童労働リスクを詳細に把握することはできていませんでした。そこで、2022年より開始した本実証実験では、ブロックチェーンを用いてカカオ豆のトレーサビリティ情報を一括管理し、児童労働リスク情報と統合する検証を行います。この仕組みにより、調達したカカオ豆のサプライチェーン上の児童労働リスクが可視化できる予定です。



(株)ロッテ 生産本部
資材部資材一課
松本 祐汰

(株)ロッテ ESG推進部
サステナビリティ推進課 課長
飯田 智晴



LOTTE DO Cacao PROJECT

LOTTE DO Cacao PROJECTでは、パートナーと共創してカカオハスクを有効活用する新たなものづくりに挑戦しています。これまで、カカオハスクをポタニカル原料としたクラフトジンや、染料としたネクタイを開発しました。今後も、カカオ豆の可能性を広げるためにチョコレートの枠を超えた商品を開発し、アップサイクルに挑戦します。



責任あるサプライチェーンの構築

当社では、調達方針に基づき、持続可能な調達活動を推進しています。調達方針には、倫理的な取引や品質、安全性に関してはもちろん、サプライチェーンにおける環境や社会への配慮についても掲げています。しかしながら、サプライチェーンのグローバル化に伴い、私たちだけでサプライチェーン全体における環境や社会への影響を把握・管理することは難しく、サプライヤーと協働して取り組むことが不可欠です。そこで、2019年4月に「株式会社ロッテサプライヤーガイドライン」を制定しました。本ガイドラインを通して、サプライヤーと基本的な価値観を共有し、さらには対話を通じてより有益な関係を構築して、ともに持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。また、本ガイドラインの説明会を定期的実施することで、さらなる理解促進と関係構築を進めています。



大切にしていること **5**

従業員の能力発揮

事業を支える最も重要な基盤は人材です。当社は、多様な従業員一人ひとりが持てる力を存分に発揮し、心身ともに健康でいきいきと活躍できる環境を整えることで、企業の持続的な発展を目指しています。



DEI (Diversity, Equity & Inclusion)

当社では、多様な従業員の活躍がロケットノーション創出の原動力であり、企業競争力の源泉であると考えDEIを推進しています。女性活躍推進については、2023年1月にWEPs*に署名しました。取り組みへの本気度を従業員へ伝えるため、ジェンダー・スペシャリストの大崎麻子氏と代表取締役社長執行役員による対談を行い、全国の従業員へ動画で発信しました。また、次世代の管理職候補である若手女性社員の育成を目的として、食品企業6社合同女性活躍推進セミナーを2016年より毎年実施しています。さらに、誰もが安心して働ける職場環境を実現するために、人権方針で差別の禁止を明文化しており、これに基づいて人権研修およびハラスメント防止研修を行っています。障がい者やLGBTQ+に関する理解促進研修も実施し、マイノリティの活躍支援にも取り組んでいます。

* WEPs: 国連グローバル・コンパクトと国連婦人開発基金(現UN Women)が共同で作成した女性のエンパワーメントに自主的に取り組む企業の行動原則。



ライフ・ワーク・バランス

当社では、従業員が心身ともに健康でいきいきと活躍するためには、ライフ・ワーク・バランスの実現が不可欠であると考えています。そのために、柔軟な働き方ができる様々な制度の導入やICTインフラの整備を進めており、ライフステージに関わらず多様な人材が活躍できる職場環境を整えています。また、2021年1月にはイクボス*企業連盟に加入し、企業文化の醸成も進めています。

* イクボス: 部下のキャリアやライフ・ワーク・バランスを応援しながら、組織としての効果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむ上司(経営者・管理職)のこと



柔軟な働き方ができる制度

- テレワーク勤務制度
- スライドワーク(時差出勤)制度
ライフスタイルに合わせて、始業および終業時間を選択できる制度
- フリーアドレスオフィス
固定席を設定せず、その日の仕事に合わせて席を選んで働くことができるオフィス
- 有給休暇の取得促進



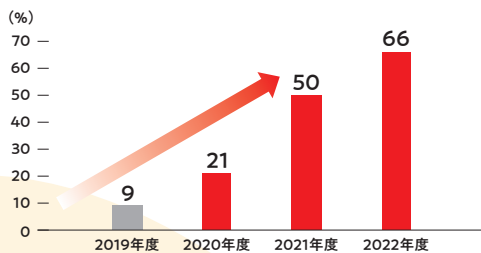
ライフイベントと仕事の両立

当社では、出産や育児などのライフイベントを迎えた際も安心して働き続けられるよう、様々な支援を行っています。出産前には、「出産・育児面談シート」を使って上司と面談を行い、体調把握や引き継ぎに関する相談を行います。育休中には、同時期に育児休業を取得している従業員とオンラインで交流できる場を用意しています。復帰後には、上司とともに参加する育休復帰ワークショップを設けており、育児と仕事の両立や時短勤務について職場の理解が得られやすい環境を整えています。忙しい日々の中で自身を見つめ直しキャリアやビジョンを描ききっかけにもなっています。また、社内の子育てネットワーク構築を目的としたランチケーションを定期的で開催することで、育児の悩みの共有や情報交換の場を提供しています。

男性育休取得の推進

当社では、ライフイベントが女性だけのものという意識変革にも力を入れ、男性の育児休業制度の周知や社内研修を行っています。また、各部署内でも育休取得を応援する体制を整えるためにチーム制を導入するなど、変化のきっかけにもなっています。

男性従業員の育児休業取得率



集計対象 当社および国内グループ会社



(株)ロッテ 人事部
いきいき活躍推進課
若松 香織



(株)ロッテ マーケティング本部
ブランド戦略部
アイス企画課 主査
江幡 辰也

育休を取得した江幡さんよりメッセージ

第一子のときは育休を取得できなかったのですが、今回は積極的に育児に参加したいと考えていました。1on1で妻の妊娠を伝えたところ、当時の上司から「おめでとう!育休はどうするの?」と声をかけてもらい、スムーズに意向を伝えることができました。また、チームのメンバーや取引先から応援してもらえたことも、心強かったです。今後、自分の育休経験談を交えながら、後輩や同僚たちに積極的に取得を促していきたいと思えます。



大切にしていること **5**

従業員の能力発揮



健康経営ホワイト500

当社では、会社の発展は従業員の健康とともにあると考えており、従業員が心身ともに健康に働ける職場環境づくりに取り組んでいます。なかでも、「健康状態の把握と改善推進」「運動習慣支援」「受動喫煙防止と禁煙サポート」を重点取り組み項目に設定して、様々な施策を実施しています。例えば、「健康状態の把握と改善推進」では、定期健康診断の全員受診を目指すとともに、二次健康診断対象者へのフォローや心身に関する健康維持のための相談体制の整備を行っています。また、「運動習慣支援」では、社内ウォーキングイベントやスポーツクラブとの法人契約などを行っています。さらに、これらの重点取り組み項目に紐付く評価指標を定めており、それらをモニタリングしながら改善することで、実効性のある取り組みを行っています。当社は、これらの健康経営の取り組みが評価され、「健康経営優良法人認定制度(経済産業省)」に基づく、健康経営優良法人ホワイト500に認定されました。



2023
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

人材育成

私たちは、従業員一人ひとりが個性や能力を最大限に発揮していきいきと働くことが企業の成長、そして企業価値の向上につながると考えています。当社では、次世代リーダーや経営人材の育成を目的とした「ロッテ大学」など自律したキャリアアップを最大限支援する機会や環境を整備し、イノベーションを生み出す企業風土の醸成を目指しています。

能力開発プログラム体系

	階層別プログラム	部門別プログラム	選抜型プログラム	自己啓発支援	キャリア開発支援
マネージャー	マネージャー研修		次期経営人材育成 次世代リーダー育成		再雇用キャリアデザインワークショップ 50歳キャリアデザインワークショップ
中堅	昇格者研修	営業 工場	女性管理職育成 異業種交流研修 外部派遣型研修	語学研修 通信教育	40歳キャリアデザインワークショップ 5年次キャリアデザインワークショップ
若手	年次研修		グローバル人材育成		オンライン研修・eラーニング 1-3年次キャリア面談
入社	新入社員研修 OJT				

事業活動の基盤

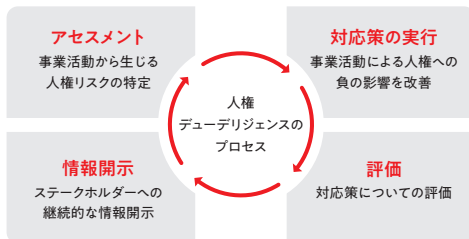
「お口の恋人」というメッセージには、世界中の人々から愛される会社でありたいという願いが込められています。当社は、人々から愛される企業であるために、法規制の遵守はもとより、公明正大な企業運営をするべくコンプライアンスやリスクマネジメントに取り組んでいます。また、企業活動に関わるあらゆる人々の人権を尊重した経営を推進することが極めて重要との認識のもと、人権方針を定め、様々な取り組みも行っています。

人権の尊重

当社グループでは、人権の尊重を前提に全ての企業活動を行っています。直接的な人権侵害を一切行わないことはもちろん、ステークホルダーと協力し、事業活動が間接的に人権侵害に加担することがないよう努めています。サプライチェーン全体で影響を受ける人々の人権尊重のため、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」の手順に従い、人権デューデリジェンスの実施を進めています。また、従業員に対しては人権研修を実施しています。差別の禁止など人権に関する基本的な理解を促進するとともに、ケーススタディを用いて事業活動において具体的に注意すべき事項についても説明しています。さらに、あらゆる差別およびハラスメントを禁止した人権方針に従って、ハラスメント防止研修も実施しています。パワーハラスメントやセクシャルハラスメントはもちろん、性的指向および性自認に関するハラスメント(SOGIハラスメント)についても行わないよう説明しています。

コンプライアンス

全ての役員と従業員全員が理解し、これに基づいて業務を行う指針として行動憲章ロッテグループウェイを制定しています。ホームページなどで公開しており、倫理的で誠実な事業活動を社会にお約束しています。企業理念であるロッテグループミッションとロッテバリューを実現するための行動指針として位置付けられています。また、内部通報制度も整備しており、ハラスメント等の人権問題、経費不正や情報持ち出し等の不正行為、法令違反および社内規程違反等のコンプライアンス違反行為全般について、電話やメール、手紙などで従業員からの通報や相談を受け付けており、被害者がいる場合には速やかに救済を行っています。さらに業務執行から独立した内部監査組織である監査部が、当社グループの業務全般を対象に法令や社内規程の遵守状況について監査を行っています。従業員に対しては定期的な研修を実施しているほか、コンプライアンスガイドブックを配布してコンプライアンス意識の向上を図っています。



ESG中期目標 実績ハイライト



1. 食の安全・安心

GFSI承認スキーム(FSSC22000/BRC)

2020年度	> 認証維持	2023年目標	> 認証維持
2021年度	> 認証維持	2028年目標	> 認証維持
2022年度	> 認証維持		

(株)ロッテ、(株)メリーチョコレートカムバニー、(株)銀座コージーコーナー(埼玉工場、川口工場)および海外グループ会社の生産拠点が対象

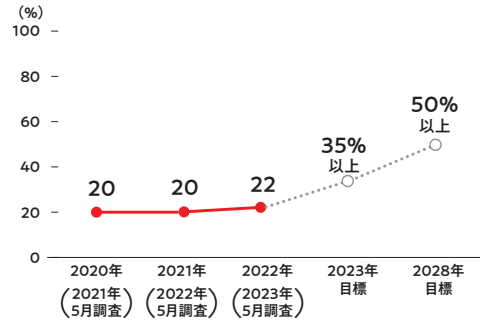
ロッテ新品質保証システムLOTTE ADVANCEの導入

2020年度	> グループ共通基準の骨子完成
2021年度	> グループ共通基準の国内案完成
2022年度	> グループ共通基準の完成(国内外)
2023年目標	> 開発・生産拠点で展開開始
2028年目標	> 開発・生産拠点で継続運用



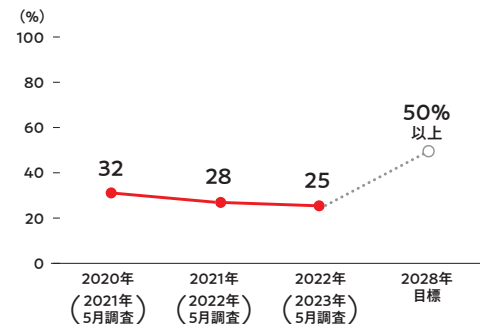
2. 食と健康

「噛むこと」を意識して実践している人の割合(国内)



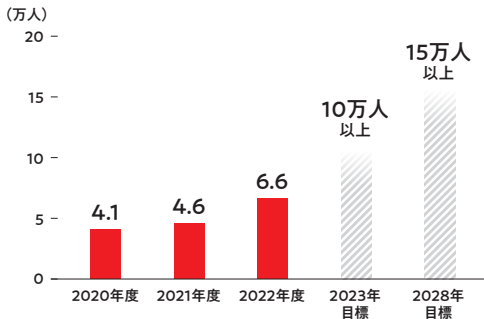
3,000人を対象としたインターネット調査(ロッテ調べ)

歯と口の健康のためにキシリトールを生活に取り入れている人の割合(国内)



3,000人を対象としたインターネット調査(ロッテ調べ)

食育体験者数

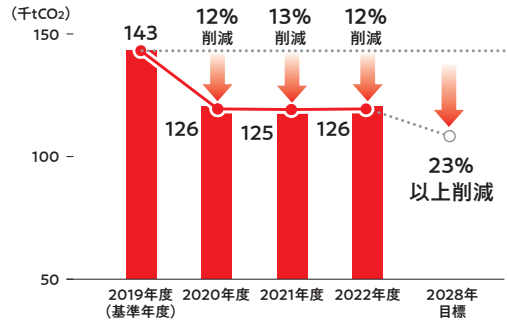


集計対象 株式会社ロッテ



3. 環境

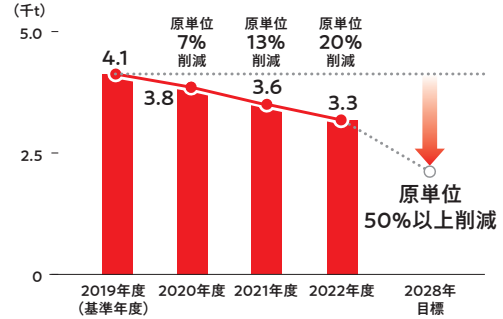
エネルギー起源CO2排出量(Scope1,2)削減率(2019年度比)



集計対象 国内:株式会社ロッテおよび国内グループ会社(株式会社メリーチョコレートカムバニー、DariK株式会社、株式会社銀座コージーコーナー)
海外:主な海外グループ会社(THAI LOTTE CO., LTD., LOTTE VIETNAM CO., LTD., PT.LOTTE INDONESIA, LOTTE Wedel sp. z o.o.)
グループ会社の変更に伴い、過去情報を見直しています

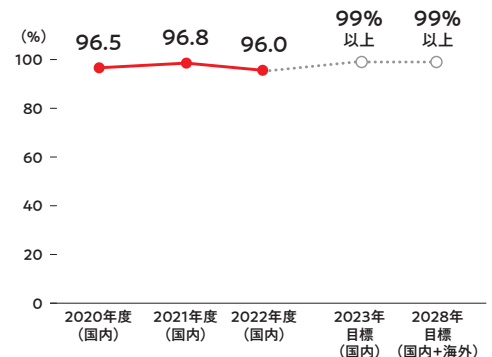
FLW(食品ロスおよび食品廃棄物)

発生量削減率(2019年度比 原単位)



集計対象 株式会社ロッテおよび主なグループ会社
グループ会社の変更に伴い、過去情報を見直しています

生産工程から排出された廃棄物のリサイクル率

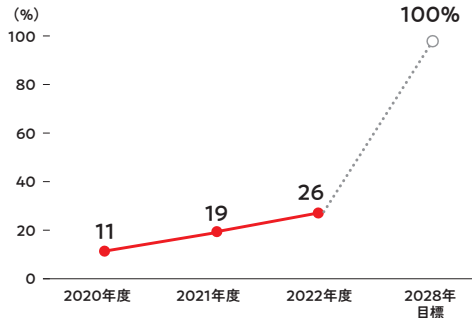


集計対象 株式会社ロッテおよび主な国内グループ会社

結

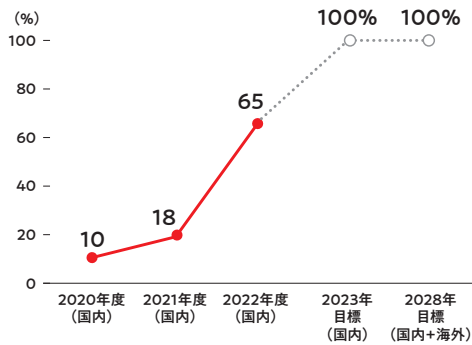
4. 持続可能な調達

フェアカカオ使用率



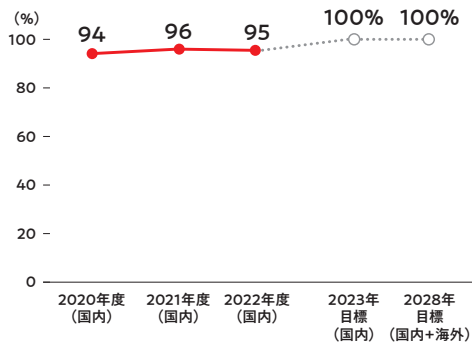
集計対象 株式会社ロッテ
豆の状態で調達したカカオ豆の重量

第三者認証油使用率



集計対象 株式会社ロッテおよび主な国内グループ会社
油脂および油脂加工品に含まれるパーム油の重量

環境に配慮した紙使用率(容器包装)

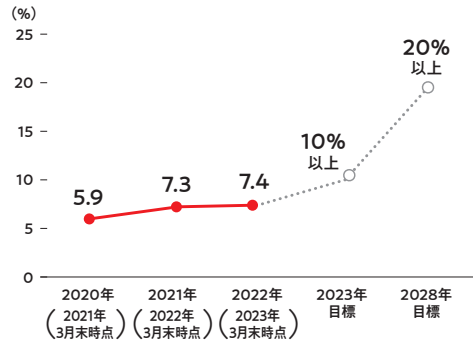


集計対象 株式会社ロッテおよび主な国内グループ会社

員

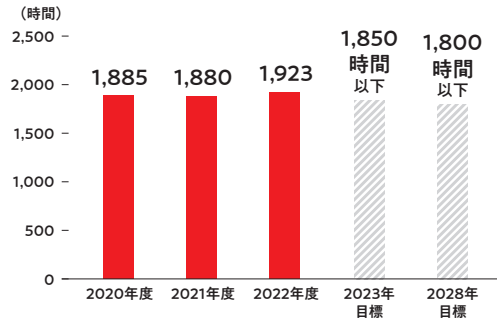
5. 従業員の能力発揮

女性管理職比率(国内)



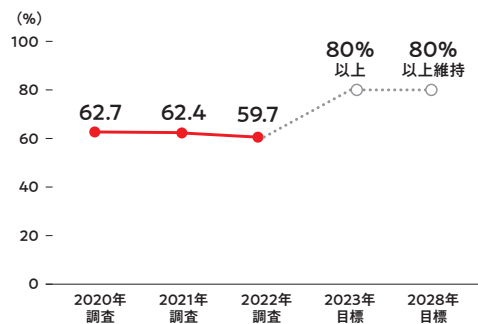
集計対象 株式会社ロッテおよび国内グループ会社
過去情報に誤りがあったため見直しています。

一人当たり年間総労働時間(国内)



集計対象 株式会社ロッテおよび国内グループ会社

働きがいを感じている社員割合(国内)



集計対象 株式会社ロッテおよび主な国内グループ会社

株式会社ロッテ サステナビリティコミュニケーションブック2023

会社情報

商号	株式会社ロッテ (LOTTE CO., LTD.)
本社所在地	東京都新宿区西新宿3-20-1
創業	1948年6月
資本金	2億1,700万円
決算期	3月31日
従業員数	2,459名 7,375名 (海外拠点・グループ会社含む) (2023年3月31日現在、海外およびDari K(株)は2022年12月31日現在)

株式会社ロッテ サステナビリティデータブック2023のご案内

より詳細な情報を掲載しておりますので、是非ご覧ください。
<https://www.lotte.co.jp/corporate/sustainability/report.html>



お口の恋人

LOTTE

www.lotte.co.jp
Printed in Japan